株主のみなさまへ

2019年12月期 中間報告書
（2019年1月1日～2019年6月30日）

P1　トップメッセージ
P3　トピックス
P5　営業活動の状況
P8　CSVの取り組み
P9　連結決算ハイライト
P10　連結財務諸表
P11　マネジメント体制
P12　会社概要
P12　コミュニケーションツールの紹介
P13　株式の状況
P14　株主メモ
P15　株式に関するお知らせ
P16　株主優待サービスについて

証券コード：2579

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

抜本的な変革を推し進め、成長軌道への回帰を目指します

代表取締役社長 **カリン・ドラガン**

2019年上期の総括

2019年上期における国内の清涼飲料市場は、前年同期比微減で推移したものと見込まれます。当社は2019年を、昨年の被災や製品供給制約からの復旧と将来の成長基盤再構築に注力する転換の年と位置づけ、供給体制の復旧と製造能力の段階的な拡張に向けた投資を進めており、第1四半期には京都工場および熊本工場で新たな製造ラインが稼働しました。また、4月には、大型PETボトル製品等を対象に、当社にとって27年ぶりとなる納価改定を実施するなど、強固な収益基盤の確立にも取り組んでまいりました。さらに、新しいマネジメント体制のもと、新たに5年間の中期計画を策定いたしました。当中期計画の策定にあたっては、抜本的な変革を通じた成長軌道への回帰を実現すべく、ザ コカ・コーラ カンパニーおよび日本コカ・コーラ社の経営陣と緊密に連携してまいりました。

上期の業績につきましては、飲料事業における販売数量減少による売上収益の減少、製品供給体制の復旧を進める中での製造・物流関連費用増の継続により、厳しい結果となりました。また、当社を取り巻く環境は、2017年4月の当社発足当時から大きく変化しており、中期計画策定における事業見通しの見直しを踏まえ、第2四半期にのれんの減損損失619億円を計上しました。

中期計画の概要

新しい中期計画「THE ROUTE to 2024」では、2024年の事業利益率およびROEの目標をそれぞれ5～6%とし、「これまでのやり方は選択肢にない」という考えのもと抜本的な変革を行うことにより、業界最高水準のイノベーションとオペレーションの実現を目指してまいります。

当社は、2017年の経営統合以来、組織、ITシステム、業務プロセスの統合を進めるとともに、コスト構造の改革

を進めてきました。これからの5年はこれらを基盤に「リセットと変革」を行い、「顧客起点の活動による売上成長」、「低コストオペレーションの実現に向けたコスト削減」、「将来の成長に向けた能力開発等のケイパビリティ向上」に本格的に取り組んでまいります。

売上成長およびコスト削減の実現に向けては、本格的な営業活動の変革に取り組んでまいります。製品売場の拡大、売場の活性化、お得意さまとの戦略的関係強化などにより販売機会の拡大を図るとともに、成長実現に向け、営業力・市場実行力の強化と顧客起点での投資の実行に取り組んでまいります。また、当社にとって重要なベンディング事業では、売場である自動販売機の設置台数増加と1台当たりの販売数量増加により成長を図るとともに、ベンディング事業のバリューチェーンにおける各プロセスをIT等の活用により抜本的に見直すことで、生産性向上に取り組んでまいります。

また、低コストで高い競争力を確立すべく、営業活動における取り組みに加え、調達や製造・物流等のサプライチェーン、バックオフィス等あらゆる分野において生産性向上・効率化の機会を特定し、5年間で約350億円のコスト削減を実現してまいります。

加えて、この中期計画には、当社が目指す社会との共創価値（CSV）の実現に向けた非財務のESG（環境・社会・ガバナンス）関連の取り組みやコミットメントを「THE ROUTE to Shared Value」として盛り込んでいます。ここで掲げる目標は、日本コカ・コーラ社の環境目標「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」における強いコミットメントとも合致しており、当社はコカ・コーラシステムの一員として、容器由来の廃棄物の問題解決のため、日本国内の優れた資源循環スキームとの連携をさらに深め、世界におけるプラスチック資源循環利用のモデルケースとなることを目指してまいります。

今後の見通しについて

第2四半期に計上したのれんの減損損失はキャッシュの流出を伴わない一時的な損失です。今期の見通しに関しましては、のれんの減損損失計上により通期業績予想の修正を行ったものの、売上収益および事業利益の見通しは変更しておりません。

また、配当につきましては、積極的な利益還元を行うことを利益配分に関する基本方針としながら、安定的に配当を行うことを最優先とし、業績や内部留保を総合的に勘案のうえ、剰余金の配当を実施する方針です。この方針に従い、今期は、年初より変更なく、中間配当金を1株当たり25円といたしました。期末配当金は1株当たり25円を予定しており、年間では1株当たり50円を見込んでおります。

今後も、お客さま、お得意さまをはじめ、すべてのステークホルダーのみなさまから信頼される企業であり続けるために、変革を続けてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き当社へのご理解と長きにわたるご支援を賜りますようお願い申しあげます。

中期計画

》5年間の中期計画「THE ROUTE to 2024」を発表

THE ROUTE to 2024

2017～2019
統合

- 組織、システム、プロセスの統合・標準化
- 総合シナジー創出

2019年事業利益※1計画

154億円 事業利益率 1.7%

2020～2022
リセットと変革

- コスト構造と企業文化の変革
- 成長に向け顧客志向の投資実行

コスト効率改善と先行投資

営業部門の変革を通じた成長

2023～2024
業界最高水準を目指し、さらなる成長

- 適切な追加投資の実行で成長加速
- イノベーション、オペレーションにおいて業界最高水準

売上成長基盤の強化

2024年事業利益目標

490億円 事業利益率 5～6%

2024年の主要指標・目指す姿

主要指標	2024年目標 （増加目標は2019年予想比）
売上収益	**売上収益：年率+0.5～1%、販売数量：年率+1～1.5%** 売場の拡大、手売りチャネルの成長とベンディングの販売数量減少幅縮小
数量・金額シェア	**金額シェア成長 ↗** 数量・金額シェアとも拡大を目指す。変革初期は数量シェアが金額シェア成長を上回る可能性も
事業利益率	**5～6%** 前回の中期計画で見込んでいた成長軌道への回帰
EPS（基本的1株当たり当期利益）	**標準化EPS※2：3倍以上** リセットと変革を通じ収益力を改善し、最終利益の成長につなげる
ROE（親会社所有者帰属持分当期利益率）	**5～6%** 収益力改善を図るとともに、バランスシートの最適化と効率化を実行
株主還元	**中期的には安定配当に注力、長期的には配当性向30%以上** 変革期間中は安定配当に注力。自己株式取得等は適宜検討

※1 事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。
※2 事業利益に含まれない一時的な影響を除いたEPSのこと。

供給体制の正常化に向けて

京都工場・熊本工場の新製造ラインが稼働

当社はアセプティック（無菌充填）製品の需要増加に対応すべく、製造能力拡張に向けた投資を行っています。この2月に京都工場、3月には熊本工場でアセプティック製品の新製造ラインが稼働開始しました。京都工場では、最需要期に向け需要の増加が見込まれる「綾鷹」、「爽健美茶」、「ジョージア ジャパン クラフトマン」等を、熊本工場では、阿蘇の天然水を使用した「い・ろ・は・す 天然水」や「い・ろ・は・す」くだものフレーバーウォーターシリーズ等を製造し、製品の安定供給を図ります。

主な製造製品（2019年）

京都工場 新ライン（2月～）

熊本工場 新ライン（3月～）

最新自動物流センター「埼玉メガDC」を建設

当社は急速に変化する市場環境や多様化するお客さま・お得意さまのニーズに迅速に対応すべく、物流体制の最適化を目指したプロジェクトを進めています。その一環として、埼玉工場敷地内において、最新自動物流センター「埼玉メガDC」の建設を開始しました。埼玉メガDCは、6万パレットの保管容量、年間8,100万ケースの製品出荷能力を備える予定で、どちらもコカ・コーラシステム国内最大規模となります。東京都および埼玉県の基幹物流拠点として2021年2月に竣工予定です。

埼玉メガDC 完成イメージ

新工場「広島工場」稼動に向け着工

「平成30年7月豪雨」により被災し稼働を停止している本郷工場（広島県三原市）は、同市内に移転し、2020年第2四半期に新工場「広島工場」として稼働を再開します。被災後、工場用地を取得するなど稼動再開の準備を進め、6月には本格的な建設をスタートしました。当広島工場には、近年需要が高まっているアセプティック製品の製造ラインを２ライン新設し、中国・四国エリアを中心とした西日本エリアに製品供給する予定です。

広島工場 完成イメージ

飲料事業

主要チャネルの概況

チェーンストア（スーパーマーケット／ドラッグストア・量販店／コンビニエンスストア）

- 新製品の積極的な展開やキャンペーンの実施等により、売場の活性化に努めています。“熱くなれ。冷えたコークが待っている。”をキーメッセージとする「コカ・コーラ」サマーキャンペーンや、聖火ランナーやオリジナルのオリンピック応援グッズに応募できる「東京2020オリンピック 応援キャンペーン」を6月より全国でスタートしました。
- 冷やすとラベルの色が変化する「コールドサインデザイン」や、「聖火リレーデザイン」を期間限定で導入しました。

コールドサイン
デザイン

東京2020オリンピック
聖火リレーデザイン

ベンディング（自動販売機）

- 自動販売機の魅力を向上すべく、設置場所に応じた最適な品揃えを徹底するとともに、自動販売機限定の新製品やキャンペーンを展開しました。
- スマートフォンアプリ「Coke ON」では、ラグビー日本代表壮行試合ペアチケットが当たる限定キャンペーン等を実施するとともに、アプリに登録した電子マネー利用でスタンプがたまる新サービス「Coke ON IC」の提供を開始しました。

電子マネーでスタンプが貯まる
Coke ON IC

リテール・フード（飲食店／売店等）

- 飲食店への当社製品を使用したノンアルコールカクテル「モクテル」の導入、売店での「コカ・コーラ」スリムボトル 地域デザインの展開などに取り組みました。

上期の主な新製品

ジョージア ディープブラック

1月21日発売

- ブラジル産最高等級豆のみを使用
- コーヒーの深みとコクがあって雑味のない、すっきりとした後味
- 飲み飽きない“クリアなコク”の味わい

ファンタ 世界のおいしいフレーバー ソカタ

6月10日発売

- ルーマニアの国民的な飲料“ソカタ”をヒントに作った「ファンタ」が日本初上陸
- エルダーフラワーの香りとレモンの爽やかな味わい
- 自動販売機で限定販売

ジョージア ジャパン クラフトマン 微糖

6月17日発売

- 水出しコーヒーを使用※し、すっきりとした味わいのPETボトル微糖コーヒー
- 牛乳とほのかな砂糖の甘みを絶妙なバランスでブレンド
- 控え目な甘さで透明感のあるすっきりしたコクと軽快な飲みごこち

※水出しコーヒー5%使用

コカ・コーラ クリアライム

6月10日発売

- 昨年発売した世界初の「コカ・コーラ クリア」にライムフレーバーを新たに採用
- 爽やかな香りとスッキリとした後味で夏場のリフレッシュにぴったり
- 夏季限定販売

い・ろ・は・す 天然水にれもん

4月15日発売

- 「い・ろ・は・す」ブランド初の無糖フレーバーウォーター
- 瀬戸内産れもんエキスを使用
- 甘くなく、れもんがほのかに香る味わい

TOPICS

コカ・コーラ エナジー

「コカ・コーラ」ブランド初のエナジードリンク「コカ・コーラ エナジー」は、成長を続けるエナジードリンク市場において、これまでにない新しいものを求めるお客さまのニーズにお応えする製品です。カフェイン、ガラナエキス、ビタミンB6、ナイアシンを配合し、刺激的な味わいをお楽しみいただけます。7月1日の発売に合わせて、大々的なキャンペーンを展開しました。

「綾鷹」東京2020オリンピック公式緑茶に

東京2020オリンピックの公式緑茶になったことを記念して、6月17日に東京2020オリンピックエンブレムを活用したデザインボトルを発売しました。これに併せて、狂言師・俳優であり、東京2020大会開会式・閉会式 チーフ・エグゼクティブ・クリエーティブ・ディレクターを務める野村萬斎さんを起用した新CMを全国で放映開始しました。

東京2020オリンピック公式緑茶

ヘルスケア・スキンケア事業

ヘルスケア・スキンケア事業は、当社の100%子会社であるキューサイ(株)を中心に行っており、主に通信販売で、健康食品および化粧品を販売しています。

主要チャネルの概況

売上収益の約9割を占める通信販売チャネルでは、テレビ通販番組や公式ショッピングサイトの集客力向上に取り組みました。また、製品の受注や案内を行うコールセンターにおいて、お客さまの特性やニーズに応じた製品を提案するなど、きめ細かい営業活動に努めました。

テレビ通販番組

公式ショッピングサイト

コールセンターの様子

上期の主な新製品

大人のダブルたんぱく

4月1日発売

- 「植物性たんぱく質」と「動物性たんぱく質」を一度にダブルで補給
- たんぱく質を隅々まで届けるサポート成分を配合
- 普段の食事や飲み物にプラスし、手軽に良質なたんぱく質を摂取

記憶スイッチ

機能性表示食品

6月1日発売

- 機能性関与成分として「イチョウ葉由来フラボノイド配糖体」と「イチョウ葉由来テルペンラクトン」の2つの成分を配合
- 機能性関与成分の働きを高める4つのサポート成分も配合
- 手軽で続けやすい、摂取目安量は1日1粒のタブレットタイプ

TOPICS

業務用青汁の展開拡大 —人気ラーメン店と異色のコラボ「青汁冷麺」—

3年連続ミシュランガイド東京に掲載された人気のラーメン店「ソラノイロ」とコラボレーションし、キューサイの青汁を使用した「キューサイのマズくない青汁冷麺」を6月20日から1ヵ月間、ソラノイロ麹町本店(東京都千代田区)にて、1日限定20食で販売しました。この「青汁冷麺」に使用した業務用青汁「キューサイ青汁のある食卓」は、昨年12月の発売以降、順調に販路を拡大しています。主にホテルやレストランのドリンクバーでの利用が多く、6月末時点で200店舗以上に導入いただいています。

機能性表示食品に関する届出表示等の詳細は、https://corporate.kyusai.co.jp/development/claims.php をご覧ください。

社会との共創価値（CSV）の取り組み

当社は、「共創価値（CSV）」を経営の根幹とし、社会と事業それぞれの重要度を鑑みながら「人々の健康への貢献」、「環境先進企業への進化」、「コミュニティとの連携強化」の3つを優先課題と位置づけ、取り組みを推進しています。

健康

- ◆品質管理の徹底
- ◆多様な製品の提供でお客さまの健康を支援
- ◆飲料知識の啓発活動と成分情報表示の充実 等

環境

- ◆水資源保護活動の実施
- ◆温室効果ガス排出量の削減
- ◆環境負荷の少ない容器の採用 等

コミュニティ

- ◆カンパニースポーツチームによるクリニックの実施
- ◆サマースクールの開催
- ◆「森に学ぼう」プロジェクトの実施 等

CSV目標「THE ROUTE to Shared Value」を策定

当社は、8月7日に発表した中期計画の重要な要素のひとつとして、CSVの実現に向けたESG（環境・社会・ガバナンス）関連の取り組みやコミットメントを盛り込んだ「THE ROUTE to Shared Value」を策定しました。ここで掲げる目標は、7月に日本コカ・コーラ社より発表された新しい環境目標「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」における強いコミットメントとも合致しています。当社は、CSVの実現に向けた取り組みを一層加速させるとともに、コカ・コーラシステムの一員として、「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」の実現を目指します。

当社のCSVの取り組みや「THE ROUTE to Shared Value」については、当社ホームページにて最新情報をご覧いただけます。

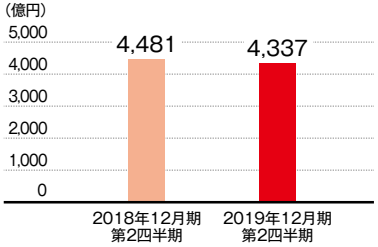
	設計 DESIGN		回収 COLLECT	パートナー PARTNER
	ボトルtoボトル（※1）／サスティナブル素材	PET樹脂の使用量	回収	さまざまな取り組み
2019年（現在）	B to B 約17% 「ボトルtoボトル」の割合（2018年実績）		容器を適切に回収	完全循環型PETボトルリサイクルを実現 「一（はじめ）緑茶 一日一本」
2022年までに	B to B 50%以上 「ボトルtoボトル」の割合			
2025年までに	B to B すべての製品のPETボトルに、リサイクルPET樹脂または植物由来PET樹脂を使用			
2030年までに	B to B 90% 「ボトルtoボトル」の割合	100% B to B すべてのPETボトルを、リサイクルPET樹脂または植物由来PET樹脂に切り替え 新規化石燃料ゼロへ	35%削減 製品1本あたりのPET樹脂（※2）の使用量（2004年比）	販売した量 回収した量 国内で販売した自社製品と同等量のPETボトルを回収	さまざまなパートナーと連携し、より着実な容器回収・リサイクルスキームを構築・維持

※1 PETボトルを回収し、PETボトルとして再生すること。 ※2 キャップ、ネックリングなど含む。

連結決算ハイライト（IFRS）

売上収益

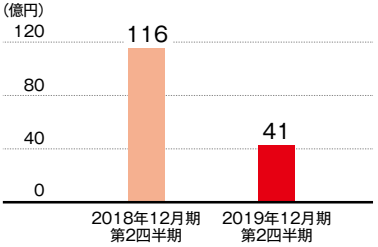
4,337億円



4月に実施した大型PETボトル製品の価格改定の効果があったものの、販売数量減少により、売上収益は前年同期比で144億円減少し、4,337億円となりました。

事業利益※

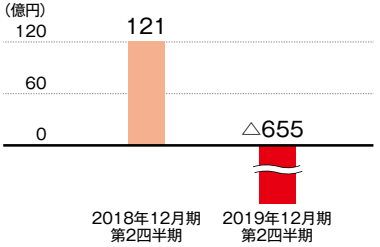
41億円



退職給付制度統合に伴う人件費の減少、販売数量減少に伴う販促費の減少等があったものの、売上収益の減少に加え、物流費の増加、ヘルスケア・スキンケア事業の売上収益減少に伴う利益減少もあり、事業利益は前年同期比で74億円減少し、41億円となりました。

営業利益

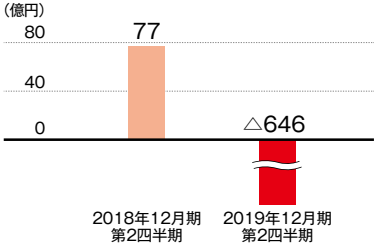
△655億円



事業利益の減少に加え、のれんの減損損失の計上や希望退職プログラム実施に伴う特別退職加算金の計上等により、営業利益は前年同期比で775億円減少し、△655億円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益

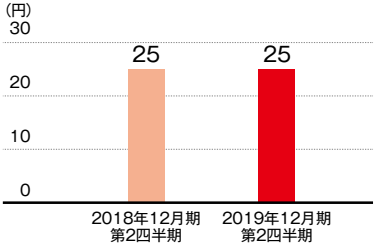
△646億円



営業利益の減少に伴い、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比で723億円減少し、△646億円となりました。

1株当たり配当金（中間）

25円



中間配当金は前年同期並の1株当たり25円とします。期末配当金（予想）についても前年同期並の25円とし、年間では前期並の1株当たり50円の配当を維持する見込みです。

セグメント情報

〈売上収益〉

■飲料事業
4,214億円（97.2%）

■ヘルスケア・スキンケア事業
123億円（2.8%）

〈事業利益〉

■飲料事業
25億円（61.2%）

■ヘルスケア・スキンケア事業
16億円（38.8%）

※事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

連結財政状態計算書

（単位：百万円）

科　目	前期末 2018年12月31日現在	当第2四半期末 2019年6月30日現在
資産		
流動資産	238,078	249,236
非流動資産	639,394	634,541
資産合計	877,472	883,777
負債及び資本		
負債		
流動負債	177,524	233,763
非流動負債	119,042	150,463
負債合計	296,566	384,227
資本		
資本金	15,232	15,232
資本剰余金	450,533	450,467
利益剰余金	182,418	115,283
自己株式	△72,651	△85,644
その他の包括利益累計額	4,915	3,749
親会社の所有者に帰属する持分合計	580,448	499,087
非支配持分	458	464
資本合計	580,906	499,551
負債及び資本合計	877,472	883,777

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期 2018年 1 月 1 日から 2018年 6 月30日まで	当第2四半期 2019年 1 月 1 日から 2019年 6 月30日まで
売上収益	448,103	433,710
売上原価	227,578	223,465
売上総利益	220,525	210,246
販売費及び一般管理費	208,213	205,202
のれんの減損損失	—	61,859
その他の収益	1,170	1,800
その他の費用	1,396	10,417
持分法による投資利益（△は損失）	△34	△24
営業利益（△は損失）	12,052	△65,457
金融収益	560	501
金融費用	437	557
税引前四半期利益（△は損失）	12,175	△65,513
法人所得税費用	4,411	△976
四半期利益（△は損失）	7,764	△64,537
四半期利益（△は損失）の帰属：		
親会社の所有者	7,740	△64,565
非支配持分	25	28
基本的1株当たり四半期利益（△は損失）（円）	39.30	△358.14

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期 2018年 1 月 1 日から 2018年 6 月30日まで	当第2四半期 2019年 1 月 1 日から 2019年 6 月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,676	△9,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,441	△38,820
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,853	27,680
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△64,618	△20,281
現金及び現金同等物の期首残高	118,742	65,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,124	45,230

 （2019年6月30日現在）

取締役

カリン・ドラガン
代表取締役社長

ビヨン・ウルゲネス
代表取締役副社長 兼
最高財務責任者
（財務本部長）

吉松 民雄
取締役会長（非常勤）

吉岡 浩
社外取締役
独立役員

和田 浩子
社外取締役
独立役員

イリアル・フィナン
社外取締役（監査等委員）

ジェニファー・マン
社外取締役（監査等委員）

行徳 セルソ
社外取締役（監査等委員）
独立役員

濱田 奈巳
社外取締役（監査等委員）
独立役員

執行役員

ヴィカス・ティク
執行役員
最高戦略責任者（経営戦略本部長）

レイモンド・シェルトン
執行役員
IR & コーポレートコミュニケーション本部長

尾関 春子
執行役員
法務本部長

会社概要 （2019年6月30日現在）

商号	コカ･コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 Coca-Cola Bottlers Japan Holdings Inc.	証券コード	2579
本社所在地	東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン･タワー	発行可能株式総数	500,000千株
本店所在地	福岡市東区箱崎七丁目9番66号	発行済株式総数	206,269千株
設立	1960年12月20日※	株主数	65,100名
資本金	152億3千2百万円	1単元の株式数	100株
連結従業員数	17,020名	上場取引所	株式会社東京証券取引所（市場第一部） 証券会員制法人 福岡証券取引所

※2018年1月1日 コカ･コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社に商号変更

コミュニケーションツールの紹介

私たちは、適時･適切な情報開示を行うことにより、あらゆるステークホルダーのみなさまから正しく理解され、信頼される企業になることを目指しています。IR情報については各種IRツールで、近年注目されているESG情報（環境･社会･ガバナンス）など非財務情報についてはCSVレポートで報告しています。また、広範な企業情報については当社ホームページで報告しています。

各種IRツール

株主･投資家のみなさまに向けてIR情報を報告しています。

株主のみなさまへ

アニュアルレビュー

CSVレポート

ステークホルダーのみなさまに向けてサスティナビリティに関する情報をお伝えしています。

ホームページ

IRイベントスケジュールや財務情報など、豊富なIR情報を掲載しています。また、ご登録いただいた方へ、決算発表やニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしています。

https://www.ccbj-holdings.com/ir/

株式の状況

（2019年6月30日現在）

発行可能株式総数	500,000 千株
発行済株式総数	206,269 千株
株主数	65,100 名

大株主

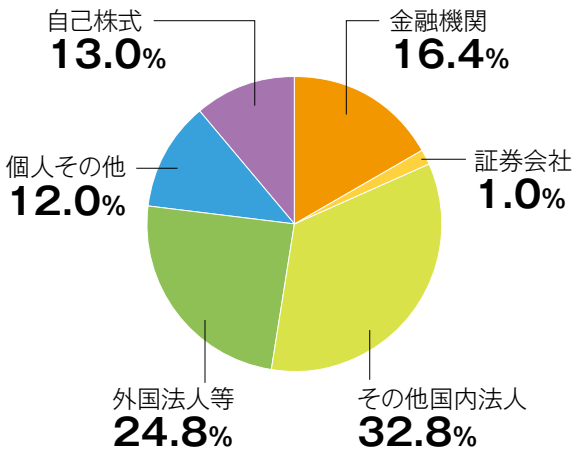
株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本コカ・コーラ株式会社	27,956	15.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7,306	4.1
公益財団法人市村清新技術財団	5,295	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	5,218	2.9
薩摩酒造株式会社	4,699	2.6
株式会社千秋社	4,088	2.3
コカ・コーラ　ホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,075	2.3
三菱重工機械システム株式会社	3,912	2.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	3,590	2.0
株式会社MCAホールディングス	3,408	1.9

（注1）当社保有の自己株式26,915千株につきましては、上記の表および持株比率の計算より除いております。
（注2）ザ コカ・コーラ カンパニーが日本コカ・コーラ株式会社およびコカ・コーラホールディングズ・ウエストジャパン・インク等子会社を通じて18.8%を保有しています。

所有者別株式数の状況

	持株数（名）	所有株式数（千株）
金融機関	69	33,835
証券会社	40	2,029
その他国内法人	885	67,660
外国法人等	572	51,145
個人その他	63,533	24,684
自己株式	1	26,915
合計	65,100	206,269

株式数の構成比



事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日 ・定時株主総会 ・期末配当金 ・中間配当金	 毎年12月31日 毎年12月31日 毎年 6 月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区 丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	TEL 0120-782-031
（ホームページURL）	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ（https://www.ccbj-holdings.com/corporate/public_notice/）に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

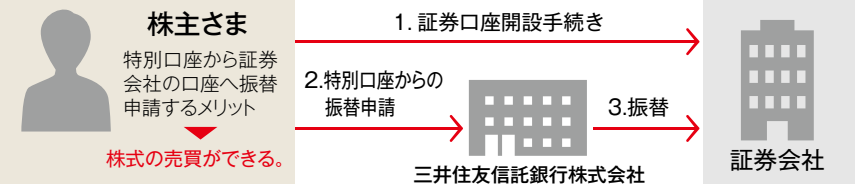
特別口座について

特別口座とは、2009年1月の株券電子化の際に、株券を証券会社に預託されなかった株主さまならびに単元未満登録株式をお持ちの株主さまの権利を保全するために、当社が特別に開設した口座のことをいいます。当社は「三井住友信託銀行株式会社」に特別口座を開設しております。

特別口座から証券会社の口座への振替申請のお手続きについて

特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません（単元未満株式を除く）ので、証券会社に取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替えるお手続き（振替申請）をお勧めします。

特別口座から証券会社の口座への振替申請のお手続きの流れ



お手続きに関するお問い合わせについて

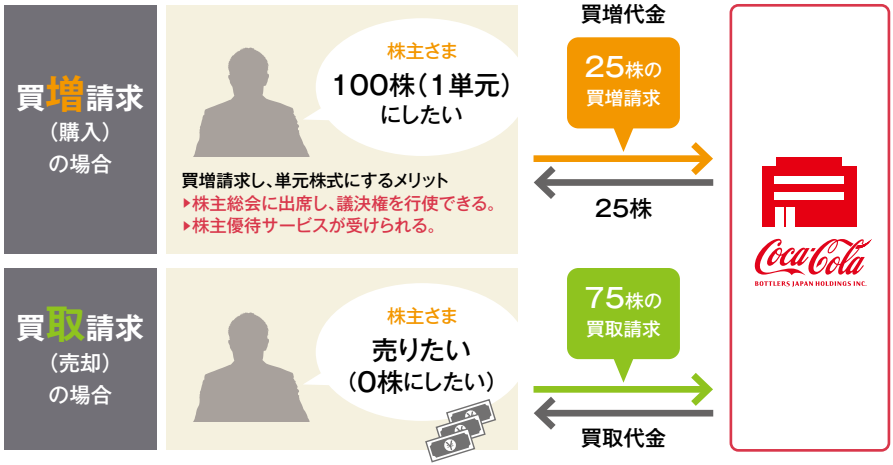
お手続き内容	お問い合わせ先
特別口座から証券口座への振替申請	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 （平日9:00～17:00）

●現在株券をお持ちの株主さまや、以前株券を持っていたが現在所在が分からなくなった株主さまは、特別口座で管理されている可能性がありますので、当社特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

1 単元未満株式の買増・買取請求のお手続きについて

当社株式は1単元100株であり、単元未満株式(1~99株)については市場で売買いただくことができません。そのため、株主さまにおかれましては、当社に対して100株(1単元)となるよう**買増請求**(購入)または単元未満株式を**買取請求**(売却)いただけます。お手続きの方法等のお問い合わせは、「2.株式に関するお手続きについて」のお問い合わせ先にお申し出ください。

例 株主さまが75株を所有している場合



2 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きについては、以下の表をご参照のうえ、該当の窓口にお問い合わせください。

❶証券会社に口座をお持ちの株主さまと、❷特別口座の株主さま(証券会社に口座をお持ちでない株主さま)で、お問い合わせ先が異なる場合がありますのでご注意ください。

<table>
<tr><th rowspan="2">お手続き、ご照会の内容</th><th colspan="4">お問い合わせ先</th></tr>
<tr><th colspan="2">❶ 証券会社に口座をお持ちの株主さま</th><th colspan="2">❷ 特別口座の株主さま
(証券会社に口座をお持ちでない株主さま)</th></tr>
<tr><td>● 単元未満株式の買増・買取のご請求
● 届出住所のご変更
● 配当金の受領方法・振込先のご変更</td><td colspan="2">株主さまの口座のある証券会社</td><td>特別口座の
口座管理機関</td><td rowspan="2">三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
TEL 0120-782-031
(平日9:00~17:00)</td></tr>
<tr><td>● 支払期間経過後の配当金に関するご照会
● 郵送物(配当金関係書類等)の発送に関するご照会
● 株式に関するその他のお問い合わせ</td><td>株主名簿管理人</td><td>三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
TEL 0120-782-031
(平日9:00~17:00)</td><td>株主名簿管理人</td></tr>
</table>

株主優待商品例

コカ・コーラ社製品詰合せ

Coke ON ドリンクチケット

（お好きなコカ・コーラ社製品1本）×6枚

コカ・コーラグッズ

ステンレスダブルウォールボトル・TOKYO2020ミニタオルセット

サーモステンレスタンブラー・TOKYO2020ミニタオルセット

キューサイ社製品

スーパーオールインワン美容ジェルクリーム コラリッチEX

社会貢献活動（市村自然塾 九州）への寄付

「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念に農作業を中心とした自然体験活動、共同生活を通じて子どもたちの健全な育成・成長を支援するために設立された特定非営利活動法人（NPO）

株主優待に関するお問い合わせ先	コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株主優待事務局 TEL 0120-99-5610　受付時間 10:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く）

株主優待サービスについて

毎年12月31日現在で当社株式を100株以上保有する株主さまに対し、保有株式数と保有期間に応じて、「株主優待ポイント」を**翌年3月下旬に贈呈**いたします。「株主優待ポイント」(1ポイント60円相当)は、当社ホームページの株主優待サイトや商品カタログの中から、コカ・コーラ社製品詰合せや社会貢献活動への寄付などお好きな株主優待商品と交換いただくことができます。

1 株主になる

2 株主優待通知が送られてくる

(3月下旬~4月上旬にお届け)

3 株主優待ポイントを株主優待商品と交換する

●株主優待サイト
●商品カタログ
からお選びください。

4 株主優待商品が届く

1 基準日および贈呈時期

● **対象となる株主さま**

毎年12月31日現在において、当社株主名簿に記載または記録された株主さまのうち、1単元(100株)以上を保有する株主さま

● **贈呈時期**

翌年3月下旬

2 株主優待サービスの利用期間

3月下旬~9月末

3 株主優待ポイント

保有株式数に応じて、45~180ポイントを贈呈いたします。

4 長期保有優遇ポイント

対象となる株主さまの保有株式数に応じて、長期保有優遇ポイントとして30~120ポイントの追加ポイントを贈呈いたします。

長期保有優遇制度の対象となる株主さま

3年以上継続して当社株式を1単元(100株)以上保有する株主さま

1) 毎年12月31日現在において、当社株主名簿に、同一の株主番号で3年以上継続して1単元(100株)以上記載または記録されている株主さま(同一の株主番号で3月31日現在、6月30日現在、9月30日現在および12月31日現在の株主名簿に継続して13回以上記載または記録されている株主さま)といたします。
ただし、婚姻および転居に伴う株主名簿の記載内容の変更により、株主番号が変更となった場合に限り、株主さまからの申請により長期保有優遇制度の対象といたしますので、当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社証券代行部(TEL 0120-782-031 平日9:00~17:00)までご連絡ください。

2) 旧コカ・コーライーストジャパン株式会社の株主さまにおかれましては、同社において、6月30日現在および12月31日現在の年2回のみ同社株主名簿の記載または記録の確認を行っていたことから、3月31日現在および9月30日現在の株主名簿への記載または記録を確認することはできませんが、2017年3月31日までの期間については、特例として、この年2回の株主名簿において、1単元(100株)以上の記載または記録を確認することで長期保有優遇制度の適用の可否について判断させていただくことといたします。ただし、2017年4月以降は、四半期ごとの株主名簿に記載または記録があることを長期保有優遇制度の適用条件といたします。

【株主優待に関するお問い合わせ先】株主優待事務局 TEL 0120-99-5610 受付時間 10:00~17:00(ただし、土日祝日・年末年始を除く)

株主優待ポイントの概要

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上		
	株主優待ポイント	①株主優待ポイント	②長期保有優遇ポイント	合計①+②
100株以上　500株未満	45ポイント	45ポイント	+30ポイント	75ポイント
500株以上　1,000株未満	60ポイント	60ポイント	+45ポイント	105ポイント
1,000株以上　5,000株未満	90ポイント	90ポイント	+60ポイント	150ポイント
5,000株以上	180ポイント	180ポイント	+120ポイント	300ポイント

5 株主優待商品のお申し込みおよびお受け取り時期について

株主優待商品のお申し込みにあたっては、株主さまのご希望にあわせてお受け取り時期（❶「通常配送」および❷「夏季配送」）をお選びいただけます。

❶ 通常配送

「通常配送」を選択し、お申し込みいただくと、受付後、1ヵ月程度でお受け取りいただけます。※

※ただし、在庫切れ、天変地異その他の事由により、お届けに1ヵ月以上を要する場合があります。

〔例〕

株主優待ポイントをもらったから、すぐに申し込もう!

❷ 夏季配送

「夏季配送」を選択し、6月30日までにお申し込みいただくと、7月上旬から中旬にお受け取りいただけます。

〔例〕

夏休みにやってくる孫に飲ませてあげたい!

この商品、暑い夏に受け取りたいけど、申し込みだけ先に済ませてしまいたい!

❸

株主優待ポイントを60ポイント以上お持ちの株主さまは、2回以上に分けてお受け取りいただけます。

（お申し込みは、都度必要です。）

〔例〕

株主優待ポイントがたくさんあるので、必要なときに、分けて受け取りたい!

さらに便利!

「通常配送」と「夏季配送」を組み合わせると、一度のお申し込みで、お受け取り時期を分けることが可能です。

ご紹介

工場見学のご案内

コカ･コーラ社製品の製造工程を見学いただける工場見学を開催しています。

詳細は当社ホームページをご覧ください。

コカ･コーラ ボトラーズジャパン　工場見学　検索

工場見学の開催工場

❶蔵王工場
（宮城県刈田郡蔵王町）
TEL：0224-32-3505

❷多摩工場
（東京都東久留米市）
TEL：042-471-0463

❸東海工場
（愛知県東海市）
TEL：052-602-0413

❹京都工場
（京都府久世郡久御山町）
TEL：0774-43-5522

❺えびの工場
（宮崎県えびの市）
TEL：0984-25-4211

“コカ･コーラ レッドスパークス”をご存知ですか？

当社は、カンパニースポーツクラブ「コカ･コーラ レッドスパークス」を保有しています。男子ラグビーチームと女子ホッケーチームがあり、それぞれが国内リーグで活躍しています。ラグビーチームは1966年、ホッケーチームは1996年に発足した伝統のあるチームで、これまで44名の選手（ホッケー：28名、ラグビー：16名）が日本代表メンバーに選出されるなど、多くの実績を残しています。

現在、74名（ホッケー：24名、ラグビー：50名）が所属しており、普段は業務をしながら練習や試合などのクラブ活動を行っています。また、スポーツの楽しさを伝える「スポーツクリニック」の開催や各地でのイベント参加等、地域のみなさまとの交流の機会を大切にしており、2019年上期は、これらの活動を計73回実施しました。

今後も地域のみなさまから愛されるチームを目指し活動してまいりますので、応援のほどよろしくお願いいたします！！

▶試合日程･チーム紹介等の詳細は　コカ･コーラ レッドスパークス　検索

ラグビーチーム

ホッケーチーム

BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

コカ･コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

〒107-6211 東京都港区赤坂九丁目7番1号　ミッドタウン・タワー

■ **株主優待に関するお問い合わせ**
コカ･コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株主優待事務局
TEL：0120-99-5610
受付時間 10：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

■ **IRに関するお問い合わせ**
IR部　TEL：03-5575-3797　https://www.ccbj-holdings.com/inquiry/

UD FONT

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022784

VEGETABLE OIL INK

本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して植物油インクで印刷しています。